

令和4年度第2回狭山市国民健康保険運営協議会会議録

開催日時 令和5年2月6日（月）
午後1時30分から午後2時20分まで
開催場所 中央公民館 第1ホール
出席者 吉田委員、菊地委員、加藤委員、福田委員、高木委員、黒米委員
関屋委員、釣委員、奥野委員、後藤委員、高橋委員、長谷川委員
欠席者 村田委員、遠藤委員、田村委員、八瀬邊委員、篠崎委員、松村委員
事務局 栗原健康推進部長、五十嵐健康推進部次長、岩田保険年金課長
鈴木主幹、山本主査、真坂主任
傍聴者 0名

会長 会議録の署名委員については、1号委員の福田委員と3号委員の後藤委員にお願いしたいと思います。

議題

(1) 令和4年度狭山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）（案）
について

会長 議題（1）について、事務局の方から説明をお願いします。

————— 会議資料に基づき説明を行う。 —————

会長 ただ今の説明について、ご質疑等がありますか。

————— 質疑なし —————

会長 ご質疑がないようなので、議題（1）につきましては、承認とさせていただきます。

議 題

(2) 令和5年度狭山市国民健康保険特別会計予算(案)について

会 長 次に、議題(2)について、事務局の方から説明をお願いします。

————— 会議資料に基づき説明を行う。 —————

会 長 ただ今の説明について、ご質疑等がありますか。

委 員 政府は、新型コロナウイルス感染症を5類に引き下げる方針を示しているが、どこにどのような影響が出てくるか。

事務局 国の公費負担がなくなった時の受診控えが考えられます。

委 員 想定される影響については、予算に反映されていないということが良いか。

事務局 そのとおりです。公費負担がなくなることによる受診控えについては、症状に応じて受診するか否かを患者様自身が判断することになり、そこを見込むことが非常に難しいため、現在の予算案となっている状況です。

委 員 保険給付費に大きな影響が出る場合は、補正予算等で対応するという理解で良いか。

事務局 そのとおりです。

委 員 賦課限度額の引き上げにより歳入の確保を図るようだが、その他繰入金が昨年度よりも4,000万円弱増えているようである。賦課限度額を引き上げて市民の負担が増えているのに、一般会計からの繰り入れが増えてしまっており、中長期的な運営が心配になる。今後の財政運営について、どのように考えているか。

事務局　　その他繰入金につきましては、埼玉県国保運営方針において、令和8年度までに解消するよう求められており、それに向けて、1年おきの税率改定を考えております。被保険者数が減少する中で、保険税収も減少傾向にあり、賦課限度額の改定だけでは対応できない状況にありますので、社会情勢等を鑑みながら、令和6年度、8年度に税率改定を行いたいと考えております。

委員　　出産育児一時金の支給額が引き上げられる件について、令和5年度予算は4年度より減少しているが、予算計上について説明をいただきたい。

事務局　　令和4年度については、年度途中ということもあり、まだ実績が出ていないのですが、令和3年度につきましては、予算額84件分に対して64件でございました。被保険者数が減少傾向にあるだけでなく、若年層自体が少ない状況の中で、令和3年度の実績を踏まえ、65件と見込んで予算を計上したものであります。予算に不足が生じた場合は、補正予算で対応させていただく予定であります。

会長　　他にご質疑がないようなので、議題（2）につきましては、承認とさせていただきます。

議 題

（3）狭山市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

会長　　次に、議題（3）について、事務局の方から説明をお願いします。

————— 会議資料に基づき説明を行う。 —————

会長　　ただ今の説明について、ご質疑等がありますか。

委員 狭山市の若い世代が増え子どもを産んでくださってそれが人口増に繋がるというところがポイントだと思うが、国の「お金さえ増やせば人口が増える」という考えが短絡的な見方に感じる。むしろ、保健師などのバックアップ体制や人材確保が必要だと思うが、保健師の人材が足りてない状況の中で、人材の確保やそれに対する予算も含めてどのような体制を考えているか。

事務局 非常に難しい問題ですが、経済的支援だけで子どもを育てていけるかというところ、そう単純な話ではないと思っており、人的支援や生活のサポートが必要という考えは委員のおっしゃるとおりだと思います。そこに行政がどのように関わっていくのかというところですが、狭山市では、2月10日から実施する伴走型支援として、妊娠や出産の届け出をした方を支援する事業に着手したところです。今の限られた保健師の人員だけでそれを担っていくのは難しいので、2名の保健師を臨時的に雇用しました。子育ての仕方について、高齢者の方から支援していただく機会が減少していたり、ひとり親世帯が増えている状況の中で、保健師によるサポートは必要と考えますが、これまでもエリアごとに80～100人ぐらいを担当として担って支援しているところに更なる支援対象者が加わることが予想されます。どこまで支援を手厚くするかという問題もあり、親としての責任も兼ね備えていかななくてはならないと思います。出来る限りの支援を行いますが、親として自覚と独り立ちも大事になってきますので、人材を確保しつつサポートしてまいりたいと考えております。

会長 他にご質疑がないようなので、議題（2）につきましては承認とさせていただきます。以上で議事を終了いたします。ご協力ありがとうございました。では、事務局へお返しします。

事務局 ありがとうございます。本日の議事はすべて終了いたしましたので、これにて閉会といたします。